



## 経済産業省の令和3年度戦略的基盤技術高度化支援事業 (通称「サポイン事業」)に1件採択されました

(公財)長野県テクノ財団は、経済産業省の令和3年度戦略的基盤技術高度化・連携支援事業～戦略的基盤技術高度化支援事業～(通称「サポイン事業」)に事業管理機関※として提案し、このたび1件が採択されました。これにより、当財団が事業管理機関として実施するサポイン事業は、継続案件を含め7件となりました。

### 1 内容

(公財)長野県テクノ財団では、県内企業の産学官連携研究開発を支援するため、裾野産業の技術向上につながる研究開発や販路開拓を支援する経済産業省の補助事業「戦略的基盤技術高度化支援事業(以下、サポイン事業という)」の活用を進めております。今回、令和3年度のサポイン事業へ事業管理機関として応募した結果、以下の案件が採択となりました。

今後、各研究開発プロジェクトの共同体構成員(企業、大学、公設試など)と共に研究開発成果の創出に向けて、最大3年間事業を推進してまいります。

### 2 採択案件一覧(詳細は別紙参照)

- ・水素社会に向けた高リサイクル・高強度・耐水素脆性結晶微細化ステンレス棒材の小規模高効率生産技術の開発

また、サポインの詳細については、下記URLを参照ください。

<https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/sapoin/index.html>

※戦略的基盤技術高度化支援事業における事業管理機関とは、研究開発計画の運営管理、共同体構成員相互の調整を行うとともに、研究開発成果の普及等を主体的に行う者です。

※当案件は、令和2年度環境負荷低減等材料技術活用促進事業により支援を行いました。

公益財団法人長野県テクノ財団  
(事務局長) 倉島 浩 (担当) 館内 孝介  
電話 026-226-8101  
FAX 026-226-8838  
E-mail [techno@tech.or.jp](mailto:techno@tech.or.jp)

(別紙)

| 研究開発計画名  | 研究概要   | 参画機関                                 | 長野県テクノ財団<br>担当セクション |
|--|--|--------------------------------------|---------------------|
| 水素社会に向けた高リサイクル・高強度・耐水素脆性結晶微細化ステンレス棒材の小規模高効率生産技術の開発 | 水素エネルギーの供給を安全に行うために、素材の耐水素脆性の向上だけでなく高強度化が同時に求められている。この課題に対して金属の結晶を微細化することできわめて低コストで費用対効果の高い部品の製造が可能になる。本研究開発では、SUS316Lの結晶を微細化した 外径3～12mmの棒材の製造技術の開発を行い、次世代エネルギーの供給に必要な素材と加工技術の構築を行う。 | 株式会社小松精機工作所<br>(諏訪市)<br>公立大学法人兵庫県立大学 | 本部                  |